

Facebook

個人的な経験からのFacebook

2012年8月6日 杉山智之

パソコン通信

- 初めて購入したパソコン(**Apple Powerbook 145B 1993/08**)にモデムを組み込み電話回線を経由してダイヤルアップ接続で文字主体のニフティサーブ・パソコン通信「自動車フォーラム」や「Apple関連フォーラム」を利用していました。
- 自動車フォーラムの議長の小畑さんは後にRJCの委員になり新車発表会・試乗会やカーオブザイヤー選考会などで会うことに成りました。

ホームページ

- パソコン通信だけでは物足りなくなり [ホームページ](#)の作成を始めました。
- ジャーナリストの伝える情報に不満が有ったこともあり、自分の関わったクルマの開発ストーリーを公開しました。
- ホンダ自体がホームページを持つ前の時代です。
- ホームページの情報とパソコン通信のコミュニケーションから、ユーザーグループとの交流も始まりました。当時パソコンを使いこなしているユーザーは先鋭的な人達で(オタク系)大変面白く交流させてもらいました。

ブログ ココログ

- Nifty-Serveが2006年3月で廃止に成った事も有り、またホームページの更新も滞っていたことから、当時流行っていたブログを始めることにしました。まずはNifty系の[ココログ](#)からスタートしました。

SNS Mixi

- ココログの反応が今一だった事も有り、日本最大のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の[Mixi](#)に加入しました。
- 既に入会している登録ユーザーから招待を受けないと利用登録ができない、完全招待制。この方式は、ユーザー素性が明らかで、健全で安心感が有りました。
- ここでは定年後手に入れたハーレーのツーリング仲間と神戸MGクラブのメンバーと親しくなる事が出来ました。
- 最近時は特徴のひとつで有ったコミュニティーの活動が低調になり魅力が低下している様に思われます。

Twitter

- [twitter](#)140文字以内の文字 & 写真の投稿
- 一方的につぶやく簡便性とMixiやFacebookに投稿を並行して送れる利便性が有りましたがコミュニケーション・ツールとしては疑問な点もあり使わなくなっていました。

Facebook I

- ソーシャル・ネットワーキング・サービスの主目的は、人と人とのコミュニケーションです。友人・知人間のコミュニケーションを促進する手段、あるいは趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といった繋がりを通じて新たな人間関係を構築する場を[Facebook](#)は提供しています。
- 従って基本は友達とのコミュニケーション。今の友達、かつての友達、これから親しくなる友達、新しい友達。

Facebook II

- Facebookでは実名登録、顔写真、正確なプロフィール(勤務先、出身校、住んでいる地域、出身地、生年月日、趣味e.t.c)などを公開して知り合いに探してもらえる状況を作っておく。
- 実名登録なので安心して友達になれる。
- 友だち申請があっても相手のプロフィールを見て可否を判断できる。

Facebook Ⅲ

- 私はパソコン通信・ホームページ・ブログ・Mixi・Twitterと変遷して来ましたがコミュニケーション・ツールとしてFacebookの威力が格段に優れていることがわかります。
- ホームページ フォロアー 不明
- ココログ フォロアー 5名
- MIXI 友達 28名
- Twitter フォロアー 29名
- Facebook 友達 100+α名

Facebook iv

- 考えてみると普段の生活の中で多くの人と日常的にコミュニケーションを交わす機会は有りません。
- 年賀状を200枚ほど書いていますがその中で実際に顔を合わせて言葉を交わせる人は限られます。
- Facebookを始めて1年経っておらず、積極的に増やしている訳では有りませんが最近友達リストが100名を超えました。その内年賀状を交わしている人は23名。
- 物理的、時間的、気分的、モラル的な垣根を超えて、人と人との繋がりを実現出来ます。
- IT技術、インターネットの普及によりこんな事が出来るように成りました。

Facebook V

- 人と人との繋がりを心地よく思うかどうかでFacebookの評価が分かれると思います。
- 情報発信をいかに続ける事ができるかが重要→人に公開するようなネタを毎日持ち続けられるか、大げさに言えば自分がこの世の中に生きている証を持っているかを問われます。
- 私はFacebookに発信し続けることにより怠惰になり勝ちな定年後の生活に、張りを与える事が出来る様にと活用しています。

Facebook VI

- 個人情報公開について過剰に神経質な人
- プライベートな日常情報発信に抵抗がある人
- 自分の顔写真を登録できない人
- インターネットに不信感が有る人
- 以上のような人は最初からFacebookは止めたほうが良いと思います。